

放送大学通信

on air

オン・エア

no. 83

発行日 平成18年9月10日

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地 043-276-5111(代)

CONTENTS

私にとっての大学院	1
科目群履修認証制度の実施について	4
面接授業“博物館を通して九州・沖縄を見る”を 終わって	6
群馬学習センターで履修サポート会・意見交換会 を開催	7
公開講演会及びオープンキャンパスの開催のご案内 (平成18年10月～12月)	8
平成18年度開設・改訂科目紹介	9
学習センターだより	12
研究室だより	13
学習センターの移転披露式典について	14
平成19年度からの授業料の改定のお知らせ	14
教務のお知らせ	15

私にとっての大学院

視野を広げること、
専門分野を持つこと

私は、大学卒業後に、非行少年に関わる仕事につきました。しかし、思うような成果を得られず、臨床心理学を学ぶことが仕事に活かせるのではないかと考え、放送大学大学院に入学しました。

臨床心理プログラムでは、面接授業と実習があります。実習では、開業している臨床心理士から、週1度の指導を受けています。仕事と両立させるのは容易ではありません（上司・同僚には感謝してもしきれません）が、授業だけでは

得られない経験ができますし、これまでの日常生活とは違う領域に触れることで自分の立場を見直すことにもなります。また、院生には病院、児童相談所、発達相談、児童養護施設などの心理臨床の現場で仕事をしている方がたくさんいます。実習での経験、面接授業での院生同士の交流が、領域をまたいだ幅広い視野を得ることにつながります。

一方で、専門分野を持つことも、大学院での課題です。私の問題意識は、自分の気持ちを言語で表現することが上手ではない非行少年

臨床心理プログラム 田高 誠

に対して、箱庭や描画といった表現を用いるのが有効ではないかというものです。今は、学習の入口に立ったばかりですが、月1回開かれるゼミや、指導教官の紹介で研究会に参加する中で、段々と見方が深まるように感じています。

想像していたよりハードな学生生活で、修了できるか不安になったこともあります。様々なきっかけが得られる魅力ある大学院です。ので何とか頑張っています。今後の職業生活にとっても、意味ある2年間になりそうです。

学ぶことの充実感を
思い出すことができました

学校管理に関する県主催の研修会が無事修了し、勤務先へ戻った私の机の上に「放送大学大学院」の案内がありました。何気なく中を見ると、そこにはそれまで受けていた研修

をより一層深められるようなプログラムが沢山あったのです。何か運命的な出会いも感じつつ、普段自分が仕事に追われ、深めたいと思いつながらできなかったことができるようになることに魅力を感じ、すぐに入学を決めました。

修士科目生修了 増田 英明

しかし、始めてみると夜遅くラジオに向かうことは簡単ではありませんでした。睡魔との闘いになる毎日。続出する飲み会で聴けない日。「これでは何にもならない」と思い、テープに録音して朝早く起きて聴くこと、録った次の日に

必ず聴くことを自分に課し、また、学習センターで聴き直しもしました。支えとなったのは、テキストの中身のすばらしさです。続けていけば自分の力になることが実感できる内容でしたので何とか続けることができました。

学習して得ることのできた教育

課程や学校経営等に関する内容は実践の場である学校教育に直接結びつき、今、理論的な拠所となっています。また、おかげさまで専修免許状もいただく事ができました。

教育に関するプログラムが充実していましたので私のような教員

に放送大学大学院はぴったりでした。働きながら学ぶことは確かに大変なことです、それは自分を磨き自信を持つことでもあると今強く感じ、大学院で学べたことにとても感謝しています。



「知りたい」という思いが、研究の原動力です

政策経営プログラム修了 梅澤 弘一

2001年6月、新設される放送大学大学院修士課程の門を叩き、翌年4月、第一期生としての学びの場が開かれました。CS放送による授業、私の研究テーマである「北海道十勝地方の防風林景観の経済的、心理的評価」の指導を受けるため、空路、東京あるいは前橋に赴いての月1回のゼミナールに仲間とともに参加しました。この間、拙い自分の能力、さらに通信制ゆえの研究の難しさも加わり、挫折の悪

夢を抱いたことも幾度となくありましたが、鈴木基之教授、河合明宣助教授（現教授）のお二方のご指導、家族の協力にも支えられ、2年間で修士課程を修了することができました。

その年、研究成果を学会で発表するために論文査読を受けましたが、レフェリーから鋭い指摘を受けて苦い“学会デビュー”となり、自らの未熟さを実感することとなりました。さらに1年後、思い切って博士課程大学院生となり、不十分であった研究を新たに農学の

側面から進めています。在籍している岩手大学大学院連合農学研究科は北海道・東北の4大学で構成されており、自宅から自転車でも通える帯広畜産大学で指導を受けています。

今、第5・6期生の方々が自己の研究テーマに英知を傾けていると思います。所期の目標、それは「夢」と言ってもいいでしょうが、それをかなえるにはあらゆる事象を意識し、研究することが肝要です。私は「夢」こそ実現すべき目標だと確信しています。



仕事・育児・学業の三重生活

総合文化プログラム文化情報科学群 日置 理佳

私は高校生の時、ポルトガル語の中小都市、レイリア市（徳島市の姉妹都市）に1年間留学する機会を得ました。言葉も通じない異文化体験の1年間はあっという間に過ぎ、帰国後、大学ではポルトガル語を専攻。在学中さらにもう1年間ポルトガル語の別の都市に留学しましたが、結局、語学習得以上の専門性を追究できないまま卒業、進路もポルトガルに全く関係ない道を選びました。

数年後、転職先として公的機関

でポルトガル文化を日本に紹介する仕事に就くことになったことをきっかけに、遅まきながら自分とポルトガルとのかかわりについて見つめ直したいと思うようになりました。残業も多い毎日の業務の中で仕事と学業を両立させる道として選んだのがマイペースで学べる放送大学大学院でした。実は願書提出前にすでに妊娠していることがわかっていましたが、「今、学びたい」と思う気持ちを大切にしたいと考え、臨月の大きなお腹を抱えて入学試験に臨みました。

4月には大学院入学とともに仕

事にも復帰し、仕事・育児・学業の三重生活がスタートしました。子ども中心の生活の中で勉強に当てられる時間は非常に少なく、スタート早々から焦りがちの毎日ですが、何よりも夫の理解と協力に支えられ、また担当教授の本多先生・笠原先生からも何度となく激励と細やかなアドバイスをいただき、いかなる状況にあっても、学ぶ意欲さえあれば乗り切ることができると思い前向きに学習を進めています。



計画性と社交性の大切さ

教育開発プログラム 五日市 克利

私は現在、理学療法士養成校で後輩の育成に当たり

ながら、修士全科生として2年目を過ごしています。仕事の都合上、各講義の単位取得と修士論文作成の同時進行は困難と判断し、修士全科生として入学する1年半程前から、修士科目生として各講義の単位取得を行い、入学時には修士論文の作成のみを残すよう計画的に準備しました。修士論文では職業とも関連の深いテーマに絞り、

“健康高齢者の自主運動プログラムの効果”に関して研究を進めています。現在までの取り組みを振り返りますと、①先行研究を踏まえ、研究デザインを絞り込むこと、②研究レポート発表会で積極的に先生方からの指導を仰ぎ、大学院生の皆様方と積極的に情報交換すること、③各講義の単位取得を計画的に行うこと、の以上3点が非常に大切であると感じています。特に時間的制約が多い方々は、各講義の単位取得は個々のペースに合わせた綿密な計画のもとに行うべきだと思います。これにより修

士論文作成への集中度も変わってくるでしょう。また研究レポート発表会で全国各地から集まる先生方や大学院生の皆様方と積極的に交流を持つことは必ず“明日への活力”を生みます。大学院生活を成功させるためには十分な計画性を持って取り組み、人との関わり合いを大切にすることに集約されると考えます。平成17年度生の皆様方、ペースアップの時期です。平成18年度生の皆様方、“何事も計画的に”です。一緒に頑張りましょう。



電車が“書齋”、留守録を活用

総合文化プログラム環境システム科学群 植地 勢作

63歳も半ばを過ぎてから、たまたま縁あって「(財)紙の博物館」にフルタイムで勤務することになりました。折角勤める以上、少しでも意義ある仕事をしたいと考え、大学院を受験しました。

学習・研究を進めるにあたり、初年度は基礎的な科目の履修と基礎資料の収集、2年目には応用科目の履修と修士論文の作成に力を注ごうときめました。通勤時間が2時間近くかかり、家庭での学習

時間はあまり取れないので、講義内容をHDに留守録しておき、あとでノートを取りながらDVDに保存し、そして“書齋”である電車内で教科書を精読するという学習方法をとっています。

受講科目すべてについて、その内容の素晴らしさに感激しきりです。中でも私の専門外であった表象文化研究や文化人類学研究には思ってもみなかった教えをいただきました。

研究テーマは、かねがね疑問に思っていた「ヨーロッパでは紙の

普及が進まなかったのはなぜだろう」という思いから、『文明の発展と紙の役割についての歴史的考察』としました。幸い職業柄、論文作成用の資料はかなり集めることができ、当初の疑問の解明も相当進みました。目下、集めた資料を前にして論文作成に邁進しようとしているところです。

また、ともすれば孤独に陥りがちですが、指導教授はじめゼミの仲間はまだ心強い味方となっています。

「私にとっての大学院」を読んで

大学通信専門委員会委員 滝口 俊子

大学通信専門委員会では、学生の皆さんに役立つ情報を提供したいと話し合いを重ねています。

今回は、放送大学大学院について、各プログラムの学生に紹介してもらいました。

どの学生も、充実した学究生活

を、ご自分らしく取り組んでおられる様子。また、各プログラムの特徴も、表現されていると思います。

この記事に刺激されて、放送大学大学院に関心をもたれたなら、是非パンフレットを取り寄せて熟

読の上、質問があったなら、お問い合わせください。

放送大学大学院は、生涯にわたって深く学び続けようとする放送大学の学生と教職員に、ピッタリの間だと思っています。

平成18年度実施開始認証 10件

No	認証名
1	現代社会の探究
2	市民政策論
3	生命人間科学
4	環境科学の基礎
5	数学と社会
6	エネルギー環境政策論
7	次世代育成支援
8	健康福祉運動指導者
9	社会企画士コース ※平成19年度より「社会企画士」に名称変更予定
10	歴史系博物館活動 ※平成19年度より「歴史系博物館活動支援」に名称変更予定

※平成18年度中に申請できるのはこの表の10件です。
※平成19年度以降も引き続き申請できます。

平成19年度実施開始（予定）認証 6件

No	認証名（仮称）
11	心理学基礎
12	経営の理解
13	異文化理解支援
14	宇宙・地球科学
15	福祉コーディネータ
16	芸術系博物館活動支援

※平成19年4月1日より、上表の10件に加えて、この表の6件を新たに申請受付開始します（計16件）

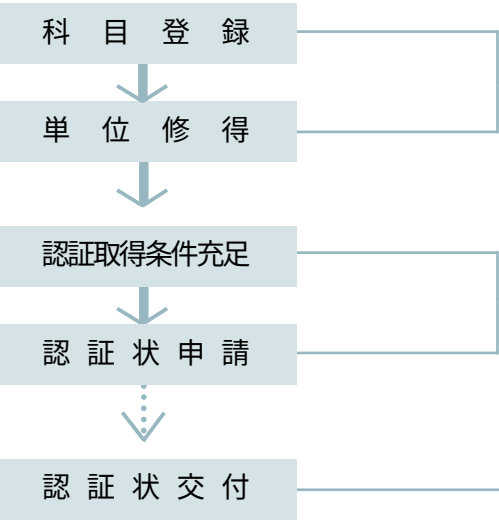
認証取得条件一例〈数学と社会（平成18年度）〉

No	科目名	分野もしくは 専攻名	区分	No	科目名	分野もしくは 専攻名	区分
1	統計学入門(04)	一般(社会系)	◎	8	金融論(04)	社会と経済	○
2	初歩からの微積分(06)	一般(自然系)	◎		金融論(99)		
	初等微積分学(02)、微積分入門Ⅰ(98)、 微積分学Ⅰ、微積分学、基礎数学Ⅰ			9	情報産業論(04)	産業と技術	○
3	線型代数入門(03)	一般(自然系)	◎		情報産業論(00)		
4	確率・統計の基礎(05)	一般(自然系)	◎	10	情報技術と社会(05)	産業と技術	○
	確率と統計(01)			11	科学の哲学(04)	人間の探究	○
5	経済学入門(04)	一般(社会系)	○	12	多変数の微積分(03)	自然の理解	
	現代の経済と経済分析、経済学入門、 経済学入門(00)			13	線型代数学(04)	自然の理解	
6	生活の経済(04)	生活と福祉	○	14	数学基礎論(03)	自然の理解	
7	現代経済学(05)	社会と経済	○	15	数理モデルとカオス(05)	自然の理解	
◎：必修科目 ○：選択必修科目 無印：選択科目 (認証取得条件)				16	数学とコンピュータ(06)	自然の理解	

科目群履修認

on air 第81号でご案内しました通り、放送大学では、平成18年度から新たに「科目群履修認証制度」を実施しています。これは、本学が指定する特定の授業科目群を履修することにより、ある分野に目的・関心をもち、そのための学習を体系的に行ったことを証明する、放送大学独自の認証制度です。本学に在学中または在学期間終了翌学期中の全科履修生、選科履修生、科目履修生の方が対象です。

認証状取得までの流れ



証制度の実施について

認証ごとに指定された取得条件を満たされた方には、「認証状」及び「科目群履修認証取得証明書」を交付します。平成18年8月1日現在、早くも6名の方が認証状を取得されました。（「市民政策論」1名、「健康福祉運動指導者」5名）

平成19年度には、現在10件ある認証に、新たな認証が6件加わり、認証の種類は全部で16件になる予定です。学生の皆様が本学で学生生活を送る中で、学習計画を立てる際の目標としていただいたり、あるいは本学での勉学の成果を、社会で活用する際に基礎的・専門的知識の証明書として用いるなど、認証状取得の目的は様々です。皆様もぜひ「認証状」取得を目指してみませんか。



科目群履修認証取得証明書
(単位修得科目一覧が記載されます)

- 認証ごとに取得条件が定められていますので、目的の認証に必要な科目を通常の科目登録手続きにより履修してください。事前に特別な手続きは必要ありません。
- 認証状を申請するには、次の2つの条件を満たしていることが必要です。
 - ① 認証取得条件を満たしていること
 - ② 本学に在学中、または在学期間終了翌学期中であること※この期間を過ぎると申請できません。申請するためには再入学していただく必要があります。
- 認証状は、申請受付後、審査を経て概ね1ヶ月程度で発行・発送します。

申請手続について（概略） ※詳細は必ず下記〈その他〉欄に記載された方法で確認してください

- 申請方法 「科目群履修認証状（証明書）交付願（平成18年度）」（入手方法は下記参照）に必要な事項を記入の上、①銀行振込明細書のコピー、②角2サイズの返信用封筒を添えて、下記申請先まで郵送にてお申し込みください。「認証状」の発行は、1認証につき1通のみで再発行はできません。認証状交付の際に「科目群履修認証取得証明書」を1通添付します。
- 発行手数料 「認証状」の発行手数料は1,000円です。手数料の支払方法は銀行振込のみとさせていただきます。
- 申請先及び問い合わせ先 放送大学教務部企画課企画係
〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 TEL 043-276-5111(代)
【お問い合わせ受付時間】 月～金（祝日除く）9:30～17:30（12:00～13:00は除く）
※単位不足等の理由により、申請受付後に手数料を返金する例が多数あります。銀行振込による返金となるため、手続に非常に時間がかかるうえ、振込手数料はお返しできませんので、認証取得条件を満たしているかどうか、申請される前に事前にお問い合わせいただくことをお勧めします。

その他

- *認証取得条件、申請手続方法、「科目群履修認証状（証明書）交付願（平成18年度）」の様式等、本制度の詳細については、パンフレット「科目群履修認証制度について（平成18年度）」（各学習センターで入手可）、または本学ホームページ（「学習方法・案内」）をご覧ください。
- *平成19年度から新たに実施する6件の認証については、詳細が決まり次第、パンフレットを作成し、本学ホームページにも情報を掲載する予定です。
- *認証の授業科目群は毎年度見直しますので、平成18年度から既に実施している10件の認証についても、新設科目や閉講科目の影響等により、平成19年度の認証取得条件を若干変更する場合があります。
- *本制度は放送大学の卒業要件ではありませんので、必ず取得しないといけないものではありません。



福岡



鹿児島



大分



宮崎



佐賀

面接授業“博物館を通して九州・沖縄を見る”を終わって

昨年秋、九州国立博物館が開館されたことは、アジアとの交流の歴史の中で重要な位置を占めてきた九州・沖縄があらためて見直される契機にもなりましたが、これを記念した企画を立ててはどうかという提起が九州・沖縄地区の学習センターの協議の場でありました。検討は進展し、博物館をテーマとした面接授業を九州・沖縄地区のすべての学習センターが連携して実施する構想が浮上してきました。その背景には、九州・沖縄の各地にはそれぞれの地域の特色をテーマとした立派な博物館や遺跡公園等が揃っているという事情があります。

各学習センターから博物館等やその関係者へ協力依頼のお願いをしたところ、積極的に対応していただけたとの返答がかえってきましたので、自然環境を含む自然史に始まって、縄文時代、弥生時代、古墳時代、江戸時代とおおまかな時代の流れに沿った形での9つのテーマによる面接授業を4月から7月にかけての土曜日・日曜日に連続して開催することになりました。

充実した内容の面接授業が実施できる見通しができてくるなかで、放送大学の内部だけで閉じるのではなく、放送大学の外部の人にも開放してはどうかという考えが出てきました。それは、開放することによって放送大学の真の姿を示すことができ、「放送技術者を養成するための大学」といった放送大学への誤解を解く効果を期

待するものでもありました。

9つの面接授業の多くに定員をはるかに超える受講希望者がでました。幸運にも複数個所の授業を受けることが出来た人も数名いたものの、申し込んでも不許可になったため「共修生」の枠で受講した放送大学学生もたくさんでました。多数の遠方からの受講者があり、異なる学習センターに所属する学生間の交流の場になった科目もありました。また、ほとんどの科目で「共修生」として受講した放送大学外の人がいいましたが、受講料が高いと思われたせいなのか、それは当初の期待より少ない人数に終わりました。

最適な専門家による現場での熱のこもった授業であったこともあって、ほとんどの授業の内容にほとんどの受講生から満足していただいたようです。この企画は、九州・沖縄地区の学習センターの間での連携であるとともに、博物館等と学習センターとの間の連携の出発点ともなるものでした。同様の面接授業を開講することを要望する声がたくさん寄せられていますので、九州・沖縄地区の学習センターではそうした支持と要望に応えるために、連携した面接授業の企画を引き続いて検討しているところです。

(福岡学習センター所長 押川元重)

科目名	実施場所	担当SC	実施日
博物館を通してみる自然と環境	北九州市立いのちのたび博物館	福岡	4/22,23
縄文人の定住と「上野原遺跡」	上野原縄文の森他	鹿児島	5/13,14
展示資料から学ぶ地域の歴史	大分市海部古墳資料館他	大分	5/20,21
古代人の埋葬と「西都原古墳群」	西都原考古博物館	宮崎	5/27,28
弥生人の生活と「吉野ヶ里遺跡」	吉野ヶ里歴史公園	佐賀	6/3,4
熊本地方の装飾古墳文化	熊本学習センター(装飾古墳見学)	熊本	6/10,11
江戸時代の長崎と「出島」	長崎歴史文化博物館	長崎	6/17,18
琉球王国の世界遺産を歩く	首里城・園比屋武御獄・玉陵	沖縄	6/24,25
博物館学概論	九州国立博物館	福岡	7/8,9



熊本



長崎



沖縄

群馬学習センターで履修サポート会・意見交換会を開催 —卒業生・在学生の協力を得て—

群馬学習センター所長 矢野 由美彦

群馬学習センターでは、去る平成18年6月4日(日)履修サポート会及び学生、卒業生、教職員の意見交換会(フリートーキングアワー)を開催しました。

履修サポート会では、新入生が学習から離れる可能性が最も高いこの時期に、学習の進め方やさまざまな相談を、卒業生や在学生(先輩)にサポーターになってもらい実施しました。個別に対面方式で実施したため、話が弾み、相談者からは先輩からの経験に裏打ちされた貴重なアドバイスや効率的な学習のノウハウを得ることができたと、大変好評でした。

また、意見交換会は、各種の調査報告書で指摘されている学生と

教職員とのコミュニケーション不足に対応するために実施しました。サポーター、同窓会役員にも加わっていただき、和気あいあいとした雰囲気のなかフリートーキング形式で行いました。これも参考になる意見が多く大変有意義でした。

また、学習センターの行事で、卒業生との連携・協力が極めて効果的であることを実証した会でもありました。

参加者からは今後ともこの種の会を実施してほしい旨の意見が多数ありました。

今後は、主に自宅で

学習している学生の意見や相談を吸い上げ、フィードバックする方策を検討し、学生支援のための各種事業を展開したいと考えています。

なお、次回は11月を予定しています。



公開講演会及びオープンキャンパスの開催のご案内 (平成18年10月～12月)

放送大学の各学習センターでは、学生に限らず広く地域の方々の生涯学習を支援するために公開講演会を開催しています。

また、各学習センターにおいては、オープンキャンパス(体験入学)を実施しておりますので、放送大学にご関心をお持ちのお友達をお誘いくださるようお願い申し上げます。このオープンキャンパスは、実施予定一覧以外にも各学習セ

ンターにおいて随時実施しておりますので、最寄りの学習センターにお問い合わせください。

なお、公開講演会及びオープンキャンパスの一覧については、放送大学のホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

公開講演会並びにオープンキャンパスの申込みなど詳細については、実施する各学習センターにお問い合わせください。

公開講演会予定一覧（平成18年10月～12月）

センター名	実施予定日	場所	定員	講師名	題目
北海道	18年 10月20日(金)	北海道学習センター 大講義室	100	星 薫(放送大学助教授)	認定心理士の資格について
	18年 10月21日(土)	北見市 「北見経済センター」	50	星 薫(放送大学助教授)	認定心理士の資格について
	18年 10月28日(土)	函館大学 中講義室	80	長谷部 清(藤女子大学教授・放送大学客員教授)	生活と環境
	18年 11月25日(土)	帯広市 「とかちプラザ」	80	小田 有二(帯広畜産大学教授)	未定
	18年 12月15日(金)	北海道学習センター 大講義室	100	佐藤 禮子(放送大学教授)	わが国の看護学の目指すところ
茨城	18年 10月8日(日)	茨城県立図書館 視聴覚ホール	200	廣瀬 誠(環境省自然公園指導員・茨城県環境アドバイザー)	茨城の心(文化)を育んだ自然と生き物たち
				鈴木 暎一(客員教授)	茨城の地域性について考える
	18年 11月18日(土)	茨城県立図書館 視聴覚ホール	200	小柳 武和(客員教授)	偕楽園公園の景観・空間特性と利用者行動
	18年 12月16日(土)	茨城県立図書館 視聴覚ホール	200	東條 吉邦(客員教授)	発達障害を考える
山梨	18年 10月1日(日)	山梨学習センター 講義室2	80	望月 真澄(身延町の文化財審議員、神奈川県名誉教授、元金沢大学教授)	ホウトウ、ホントウは中国料理
	18年 10月8日(日)	山梨学習センター 講義室2	80	奥村 圭子(山梨大学留学生センター教授)	食文化から見るイギリス 温故知新
	18年 10月14日(土)	山梨学習センター 講義室2	80	高麗 勲(神奈川県大和市土木部、中国語通訳案内業)	私の中国語学習とシルクロードへの旅
	18年 10月15日(日)	山梨学習センター 講義室2	80	秋山 麻実(客員助教授)	「女の子」のつくりかたージェンダーと教育の交差点ー
長野	18年 10月14日(土)	長野学習センター 第2講義室	50	成沢 和子(客員教授)	未定
静岡	18年 10月22日(日)	三島市民生涯学習センター 講義室	50	指田 豊(東京薬科大学名誉教授、伊奈郊二(客員教授)	食べる野草ハイキング(仮称)
大阪	18年 11月10日(金)	大阪府立文化情報センターさいかくホール	180	山田 辰雄(放送大学教授)	中国の政治をどうみるか
奈良	18年 10月7日(土)	奈良女子大学記念館	200	松浦 正昭(富山大学芸術文化学部教授)	古代の美術と人々の暮らし
鳥取	18年 10月26日(木)	米子市成美公民館	100	竹内 善一(客員教授)	「おかげさま」の生き方
	18年 11月22日(水)	米子市就将公民館	100	竹内 善一(客員教授)	「おかげさま」の生き方
	18年 12月7日(木)	赤崎地区公民館	100	山内 益夫(鳥取学習センター所長)	食と健康
島根	18年 10月8日(日)	島根学習センター(スティックビル文化交流ホール)	130	高橋 和夫(放送大学助教授)	緊迫する中東情勢
熊本	18年 10月15日(日)	熊本学習センター 3階大講義室	100	西川 盛雄(客員教授)	英語の世界
	18年 10月29日(日)	熊本学習センター 3階大講義室	100	丹保 憲仁(放送大学長)	21世紀の日本

オープンキャンパス予定一覧（平成18年10月～12月）

学習センター等名	実施予定日・場所
青森学習センター	H18.10/14(土)・10/15(日)(各日とも青森学習センターで実施)
八戸サテライトスペース	H18.10/15(日)(八戸サテライトスペースで実施)
山形学習センター	H18.10/1(日)・10/7(土)・10/14(土)・12/17(日)(各日とも山形学習センターで実施)
	H18.12.16(土)(米沢市すこやかセンターで実施)
茨城学習センター	H18.10/8(日)・11/18(土)・12/16(土)(各日とも茨城県立図書館で実施)
福岡学習センター	H18.10/8(日)・10/21(土)・11/4(土)・11/19(日)
	12/3(日)・12/16(土)(各日とも福岡学習センターで実施)
北九州サテライトスペース	H18.10/8(日)・10/21(土)・11/4(土)・11/19(日)
	12/3(日)・12/16(土)(各日とも北九州サテライトスペースで実施)
沖縄学習センター	H18.10/27(金)・10/28(土)・10/29(日)・10/30(月)
	10/31(火)・11/1(水)・11/2(木)(各日とも北谷町立図書館で実施)

学部 開設科目

平成18年度開設・改訂科目紹介

発達障害児の心と行動('06)

東京学芸大学 教授 太田 昌孝
(放送大学客員教授)

発達障害は人生の早い時期に社会的諸関係のなかで現れ、その原因は脳機能障害にあり、知的障害、言語と学習の障害、自閉症圏障害(広汎性発達障害)、ADHD等がある。

特別支援教育では、従来の特殊教育よりも対象となる子どもたちの範囲が広がり、知的障害のない発達障害をもつ子どもたちも対象となる。また、昨年4月に施行された発達障害者支援法は、療育の困難な自閉症圏障害を初めとして、今まで対策が遅れていた全ての発達障害に対して、人生の早期から成人期までの一貫した支援をすることを目的として施行されたと考える。

発達障害の子どももまた、発達過程にある存在である。しかし、発達障害の子どもは、ややもすれば、行動のみで判断され、思わぬことを押しつけられたり、誤解されがちなことが多い。発達障害を持つ子どもたちの心の発達を知ることには、彼らの行動や気持ちを理解することに通じる。また、この発達の時期には、教育の実践にあたっては、医療、福祉との連携が一層必要となる。そのためには、各分野を結ぶ共通な言葉により障害を理解することが不可欠である。

本講座では、発達の観点と学際的観点を基本に置き、発達障害の子どもについて、その心理・生理・病理を解説し、教育的支援の

実践的基礎となることを目的としている。そして、その基礎には、適切な個別のプログラム作成と実践にあたっては、子どもたちと共感し合うことと、こころの発達の科学の深い理解の二つが必要であるとの考えが貫かれている。



数学とコンピュータ('06)

自然の理解 教授 長岡 亮介
京都大学 教授 岡本 久
(放送大学客員教授)

今日、小型のパーソナル・コンピュータ(PC)は私たちの生活に深く入り込んできている。「技術の進歩」のおかげでコンピュータは、誰もが使うことのできる便利で魅力溢れる“生活用品”になったかの見方が支配的であるが、本当にそうであろうか。

コンピュータを上手に使いこなすためにはコンピュータを正しく理解することが不可欠である。しかし、コンピュータのユーザである我々が基礎を原理的に理解することは実際的でない。

コンピュータを知的な文具として使いこなす上で必要な最小限の原理的理解を、数学的な話題を通じて概観することで、“電子計算機”の技術的な詳細(不慣れな人には迷宮にも似た!)に踏み込む

ことなく獲得しようというのがこの科目の一つの目的である。

もう一つの目的は、このようなコンピュータの発達によって可能になった、数学を理解するためのもう一つの道を提示することである。コンピュータの計算能力、グラフィクス能力を活用することで、それなしでは理解するどころか、想像することすら困難な、複雑で意外な数理世界を視覚的に紹介したり、他方、巨大化したといっても所詮有限の能力しかないコンピュータでは、人間が数学的思考の中でやすやすと実現する無限への接近がいかに困難であるかという問題を考察する。

「数学は好きだがコンピュータはどうも」という人や「コ

ンピュータは良く使うが数学はちょっと」という人に、「数学」と“コンピュータ”について、少し新しい世界が見えてきた」といってもらえたら幸いである。「数学もコンピュータも苦手」という人が数学とコンピュータについて面白さを発見してくれる機会となればそれも最高である。



岡本久 教授

長岡亮介 教授

気長に楽しく異文化を学ぶ

フランス語入門Ⅰ('06)	東京大学大学院教授（放送大学客員教授）	鈴木 啓二
東京大学大学院助教授（放送大学客員助教授）	原 和之	早稲田大学助教授（放送大学客員助教授）
フランス語入門Ⅱ('06)	人間の探究教授	工藤 庸子
東京大学大学院助教授（放送大学客員助教授）	原 和之	関西学院大学助教授（放送大学客員助教授）
フランス語基礎('06)	人間の探究教授	工藤 庸子
	東京大学外国人教師（放送大学客員教授）	ヴァセルマン・エストレリタ

全ての教材に音声CDが添付されました。「入門Ⅰ」は子供たちの演じるドラマを見ながら易しい表現を学びます。地方都市の紹介や文学の朗読など、フランスの多彩な文化にふれるコーナーもあります。若い男女の出会いと交流を素材にした「入門Ⅱ」では、初級文法の後半をあつかいます。習得すべき課題は最小限におさえたので、会話やシャンソンにじっくり耳を傾けて、生きた音声に慣れるようにしてください。「基礎」の教材は、インタビュー・コーナー、書き下ろしのテキスト、会話、文法の復習など、様々な要素から

構成されています。かつて多少はフランス語をやったことがあるという方にも、豊かな内容をもつリフレッシュ科目として、ぜひ活用していただきたいと思います。外国語はカタコトでも知っているほうがいいのです。カタコトのフランス語によって、手応えのある異文化コミュニケーションが成立する土地は、ヨーロッパだけでなく、アフリカ、カリブ海、太平洋、インド洋、そしてカナダなど、広大な地域にひろがっています。フランス語は美しい言葉です。文法にも整合性がありますが、そ

れにしても週1回の講義を聴いただけで、自然に外国語をマスターできるなどというのは夢物語にすぎません。オリジナルDVD教材を使う「初歩のフランス語」から「基礎」レベルのシャンソンによる授業まで、面接授業によるサポート態勢を充実させてゆきます。まさに生涯学習のつもりで、外国の言語と文化に親しんでください。



工藤庸子 教授

暮らしの防犯と防災('06)

日本女子大学（放送大学客員教授）	教授 清永 賢二
東京工業大学大学院（放送大学客員教授）	教授 大野 隆造

日々の暮らしは安全で安心できるものであって欲しい。そういう望みを打ち砕くように私たちの生活が危機に見舞われることがあります。その危機は深い悲しみと絶望をもたらします。しかし、人間の叡智は悲しみの中から生み出され、危機こそ人間にとって掛け替えのない「教師」とも言えます。危機から目をそらさないで、それに対峙直視し、あるいは時として謙虚に折り合いながら、それを乗り越えなくてはなりません。本講義が扱う非日常的な危機である犯罪と災害には、日常的な暮らしの中で取り組むべき対策において、多くの共通性があります。犯罪を生む土壌として、社会的環境（たとえば経済的格差や地域コ

ミュニティの崩壊）の問題や構築環境（たとえば住民の無関心による管理の悪い集合住宅）の問題があります。一方、災害の原因としては、やはり構築環境（たとえば耐震・耐火性能の劣る建物群）の問題や自然環境の破壊（たとえば大気中のCO²濃度増加による地球温暖化）の問題などがあります。これらはいずれも、地域コミュニティの再生・創造への活動や環境の保全・整備といった地道な日常的活動によって改善され得る問題です。したがって、非日常的な犯罪や災害に備えることは、日常的なコミュニティ活動や環境に配慮した行動などを通して、より良い生活環境を作ることと結局

は同じことになります。こういった活動には優れたリーダーの存在が不可欠です。この講義の受講者の中から、ここで学んだ知識を生かして活動する地域のリーダーが現れて欲しいと願っています。



清永賢二 教授



大野隆造 教授

大学院
開設科目

平成18年度開設・改訂科目紹介

地域文化研究Ⅱ('06)
—東アジア世界の歴史と文化—

科目名が「地域文化研究」で、副題が「東アジア世界の歴史と文化」ですから、この講義には二つのねらいがあるといえるでしょう。その一は、東アジア世界を歴史的事実に基づいて理解しようというねらいです。東アジアは私たち日本がそこに属し、長きにわたって密接な関係を結んできた地域です。この関係の重要性は現在もなお変わるものではありません。従って、今日しばしば提起される歴史認識の問題を考えていくためにも、私たちはそれぞれに自分自身の東アジア地域像をもつことが必要なのです。この講義は、各回とも、中国または朝鮮を対象として

基本的で重要なテーマを選び、それを歴史学の立場から明らかにしています。この地域に特徴的な政治や経済のシステムについて、様々な社会集団がもつ歴史的な意味について、伝統的な生活文化やその変化について、また現代中国社会の基軸についてなど…。これらは私たちの東アジア認識を深めることに役立つでしょう。次にそのねらいの二は、この科目を学ぶ中で、歴史研究、地域文

化研究の方法を会得しようというものです。これは大学院の科目ですから、提示された歴史像を学ぶだけではなく、各回にあげた史料の読解や論旨の展開を見ていく中から、自ら考え研究していくための方法を学び取ることが大切です。活用されることを願っています。



浜口允子 教授



川勝守 教授



吉田光男 教授

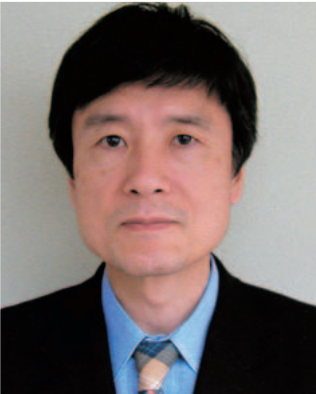
精神医学('06)

総合文化プログラム環境システム科学群	教授 仙波 純一
桜美林大学（放送大学客員教授）	教授 石丸 昌彦

平成18年度から放送されている「精神医学（'06）」は「精神医学（'02）」の改訂版です。今回の主任講師には放送大学の仙波純一に加え、桜美林大学の石丸昌彦教授にも参加してもらい、事実上同じ講師による授業となりました。4年を経たので、内容を最新にするのはもちろんですが、前回あまり触れられなかった部分も取り上げることにしました。精神医学的面接法を1章分新たに作成することとしたほかに、新しい精神科治療薬や、新しい法律である「心神喪失者等医療保護法」についても説明を加えました。一方で依存症や身体疾患に基づく精神障害については、残念ですがページ数の

こともあり、簡略に記述することにしました。精神医学と臨床心理の専門家は、こころの問題を持つ人々に対して、それぞれ自分の得意な立場で働くことが求められています。精神医学は臨床心理士の仕事に関係するだけでなく、精神保健福祉士や作業療法士、保健師などの仕事とも重複する部分があります。これらの仕事に携わる人々にとっても、精神医学の正確な知識が必要でしょう。また、精神医学的

な知識は、一般の学生にとっても、精神病に対する理解にとどまらず、日常的で一見些細に見えるような「こころの問題」を扱ううえでも、役に立つのではないのでしょうか。



仙波純一 教授



石丸昌彦 教授

学習センターだより

千葉学習センター

—県民の旺盛な学習意欲—

今学期、本センター所属の学生は6,180名です。この学生数を千葉県の18歳以上の人口比率で表しますと、0.13となります。この値は、50学習センター中、最大であり、千葉県民の旺盛な学習意欲が反映されています。これには、千葉県および県下の各市町村による生涯学習の取組みに本センターが積極的に参加協力していることも大きく寄与しています。

その一つが県主催の「生涯学習フェスティバル」への参加です。このフェスティバルは、「生涯学習に関する情報等を多彩なイベントの形で提供し、生涯を通じて学習することの意義について県民の理解を深めるとともに、学習意欲の一層の向上や学習活動への参加の促進を図る」目的で毎年開催されています。昨年は、東金文化会館で開催され、本センターはかなり大きなブースを利用できましたので、パネルの掲示、パンフレットの配架、ビデオを用いた放送教材、印刷教材による学習方法などの説明、入学相談もいたしました。

千葉学習センター所長 藤原 康晴



本年は、10月21日(土)、22日(日)に千葉県南総文化ホール(館山市)を会場に開催されることになっており、そこに参加して、放送大学がもつ生涯教育に関する豊富な資源を広報いたします。近辺にお住まいの方はもとより、本センター所属の学生さんはお知り合いに声をかけていただき、是非ご一緒にお出かけください。

福岡学習センター

—学習センターの活用をめざして—

福岡学習センターは、平成2年にビデオ学習センターとして九州大学構内に設置されました。その後、学生が増えたことにより手狭になり、九州大学がキャンパス移転を決めたこともあり、現在の博多駅近くの博多織会館内に引っ越しました。平成11年には北九州サテライトスペースが北九州市立中央図書館視聴覚センターに設置されました。



面接授業においては、履修希望者

が多い外国語科目や心理学実験科目の拡充に努めているほか、遺跡や博物館など現地で学習する科目を積極的に企画するようにしています。それらの面接授業科目については一定の割合で全国の学生の皆さんの参加があれば相互に交流できて望ましいと考えるのですが、現在のところ、所属学習センター優先の方針によってそのような結果にならず残念です。

福岡学習センターは全国有数の高額な家賃を払っていることもあり、学生サークルの利用を含めて施設の積極的な活用をめざしています。その利用においては、規則があるからそれを守っていただくというのではなく、皆さんが円滑に利用していただくためのルールとして守っていただくことをお願いするようにしています。

仕事や観光で福岡に立ち寄られた折は、福岡学習センターをお訪ねください。歓迎いたします。

福岡学習センター所長 押川 元重

研究室だより

情報処理と情報化

産業と技術 教授 岡部 洋一

総合文化プログラム・文化情報科学群



この4月から放送大学に着任した岡部と申します。専門分野は電子工学ですが、今迄、どちらかと言うと、情報処理を意識したデバイス工学の一端の研究をしてきました。例えば超高速情報処理を前提とした「超伝導デバイスをを用いた論理回路」とか、人間の脳のような学習能力を有

した「ブレインコンピュータ」などが主要なテーマです。

コンピュータの動作は一見複雑で、どうしてあんなに色々なことができるのかちょっと不思議ですが、そうは言っても人間の考え出したものですから、それほど複雑でもありません。一方、脳の方は、神経細胞が比較的いい加減に入っているだけで、学習によってどんどん賢くなっていく仕掛けがあり、その仕掛けは生物の進化によって得られただけあって大変うまくできていますが、残念なことに、その全容はまだ完全にはわかっ

ていません。それだけにその仕掛けを解明し、電子工学に応用することは大変面白いテーマだと思っています。こうした話を、2008年度から始める講義などで、順にお伝えする予定です。

今迄在職していた大学では計算機センターの面倒を見てきたこともあり、放送大学の一層の情報化を進展するという仕事も始めつつあります。インターネットを利用したeLearningの普及、教員と学生のより深い双方向的なつながりの実現、さらに、事務処理のより高い電子化、Webの充実なども順を追って仕

イメージと心理療法

発達と教育 教授 小野 けい子

臨床心理プログラム



臨床心理学の研究は、日々の心理療法の現場経験に基づいています。心理療法の現場として、今まで、大学病院精神神経科外来、大学の学生相談、中学校のスクールカウンセラー、子育て相談、産業カウンセラーなど、様々な場を経験してきましたが、現在は、大学病院の「こどものこころクリニック」での心理療法を中心的な臨床の場にしてい

ます。心理療法では、「ことば」も大切にされますが、こころの深い層を表現するものとして、描画や造型に表現されるイメージや、夢に現れたイメージなどを大切にしています。造型の一種である「箱庭療法」では、内側が水色に塗られた箱に砂を入れ(砂を掻き分けると水の表現ができる)、沢山のミニチュアの玩具を用意して、それらを用いて、自由な表現をしてもらいます。

山や川や森が表現されることもあれば部屋の中が表現されることも、戦いが表現されることもあれば、働いている場、遊ん

でいる場一箱の中が舞台であるかのように、様々な場面が展開します。その中には、ある国の神話のようだとか、あの民話を思い起こさせるといったものも出現します。長い歴史の中で残ってきた神話や民話には、その民族に共通な、あるいは人類共通のイメージが表現されているとも思われます。箱庭の表現や描画の表現は、クライアントのこころの表現であると見て、それを深く理解するために、各国の神話や民話を読んで、思いをめぐらしたりもします。

学習センターの移転披露式典について

奈良

奈良学習センターは、奈良佐保短期大学から奈良女子大学内に移転しました。これを記念して6月30日に文部科学省の中田大臣官房審議官、奥野元文部大臣、久米奈良女子大学長、西尾奈良県副知事などの多くの来賓を迎え、御手洗理事長、大橋副学長が出席して、移転披露記念式典を行いました。

徳島

徳島学習センターは、徳島大学内の工学部建設工学科棟から地域・国際交流プラザ（日亜会館）に移転をしました。これを記念して7月5日に文部科学省の久保生涯学習総括官、飯泉徳島県知事、青野徳島大学長などの多くの来賓を迎え、丹保学長、梶野理事が出席して、移転披露記念式典を行いました。

鳥取

鳥取学習センターは、鳥取市の学習・交流センター鳥取から鳥取市駅南庁舎に移転をしました。これを記念して7月14日に文部科学省の高橋生涯学習推進課長、藤井鳥取県副知事、竹内鳥取市長、重政鳥取大学理事（教育担当副学長）などの多くの来賓を迎え、丹保学長、杉浦監事が出席して、移転記念式典を行いました。



平成19年度からの授業料改定のお知らせ

本学では、現在、学生の皆様の多様なニーズに適切に応えつつ、一層体系的な履修ができるようカリキュラム再編や印刷教材等の質的充実に着手するなど、総合的な教育改革に取り組んでおります。また、各学習センターにおける面接授業の改善・充実、セミナー・履修サポート会の開催、開所時間の延長等のほか、平成19年度からは逐次ラジオ番組のインターネット配信を行い、21年度からは科目

登録等の手続きの利便性を向上させるためコンピュータシステムを抜本的に改善するなど、学生サービスの向上に努めております。一方、これまで政府から我が国の生涯学習、遠隔高等教育の中核的機関としての本学に対し、番組の制作・放送等への助成がなされてきましたが、厳しい財政状況を反映して運営費補助金の大幅な削減が毎年継続しており、本学ではこれに対応するため、様々な経費

節減の努力をしてきております。こうした中で、今後とも教育の質的水準を維持・向上させつつ、学習活動の利便性を高めるために必要な事業を充実させていくために、やむを得ず、平成14年度以来5年間据え置いてきた授業料を19年度第1学期から引上げさせていただきます。何卒御理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

- 学部の1単位相当の授業料：5,000円→5,500円
 - （平成12年度第2学期（授業料スライド制導入時）以降の入学者：5,500円）
 - （平成11年度第2学期から12年度第1学期までの入学者：4,500円）
 - （平成5年度第2学期から11年度第1学期までの入学者：4,000円）
- 大学院の1単位相当の授業料：10,000円→11,000円

教務のお知らせ

平成18年度第2学期教務スケジュール

学部(教養学部)												
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
第2学期の学習	授業	1(日)			28(木)	29(金)	4(木)	5(金)	20(土)	21(日)		31(土)
		放送授業期間				ゆとり期間	放送授業期間		集中放送授業期間			
		9(木)		14(木)					7(水)	18(日)		
		21(土)	面接授業(毎週型)				7(日)	面接授業(集中型)				
第1学期の準備	手続き等	面接授業(土日型)										
		下旬～上旬 通信指導の送付			1(金) 必着		中旬 単位認定試験通知(受験票)の送付		28(日)	4(日)	中旬 成績通知の送付	
		18(水)	22(日)	卒業研究報告書提出締切	10(金) 消印	16(木) 必着			単位認定試験			
		面接授業(毎週型・土日型)の第2次追加登録		1(水)	5(日)	面接授業(集中型)の科目登録申請		上旬 面接授業(集中型)の授業料納入	上旬頃 面接授業(集中型)の追加登録			
平成19年度												
15(金)												
平成19年度第1学期出願 (平成18年度第2学期で学籍切れの学生)												
上旬 科目登録申請要項送付												
26(金)消印												
9(金)必着												
第1学期 科目登録申請												
15(木) 必着												
上旬 科目登録決定通知の送付												
下旬 印刷教材の送付												
下旬 面接授業(毎週型・土日型)の第1次追加登録												
上旬 授業料納入												

大学院（文化科学研究科）													
月	10月		11月		12月		1月			2月		3月	
第2学期の学習	1(日)				28(木) 29(金)		4(木) 5(金) 20(土) 21(日)				31(土)		
	放送授業期間					ゆとり期間	放送授業期間		集中放送授業期間				
	下旬～上旬 通信指導の送付				1(金) 必着	22(金) 必着	中旬 単位認定試験通知(受験票)の送付		26(金) 27(土) 単位認定試験	20(火) 必着 研究レポートII提出締切		中旬 成績通知の送付	
			通信指導提出		修士論文提出締切								
平成19年度 第1学期の準備							上旬 科目登録申請要項の送付		26(金)	9(金) 必着		上旬 科目登録決定通知の送付	
									第1学期 科目登録申請		印刷教材の送付		
											上旬 中旬 授業料納入		
					15(金)		平成19年度第1学期出願 (平成18年度第2学期で学籍切れの学生)				15(木) 必着		
						上旬 科目登録申請要項の送付		26(金)	9(金) 必着		上旬 下旬 科目登録決定通知の送付		
								第1学期 科目登録申請				上旬 中旬 授業料納入	

「住所等変更届」の提出について（お願い）

ここ数年、印刷教材等について、受取人不在による返送が非常に多く見受けられますので、以下のことにご注意願います。

- 印刷教材等が、送付される時期には、郵便受けをこまめにご確認いただき、印刷教材等（第4種郵便）または、郵便局からのご不在連絡票が、投函されていないかどうかの確認をお願い致します。
特に、ご自宅等の郵便受の投入口が、印刷教材等の小包を投入できない大きさの場合、教材等の代わりに、ご不在連絡票が投函されている場合がありますので、ご注意ください。
ご不在連絡票が、投函されていた場合は、速やかに、指定の郵便局に受取方法をご連絡ください。
- 現住所が変更になった場合は、「学生生活の葉」にとじこまれている「住所等変更届」を所定の提出先へ提出ください。
提出先は教養学部在学の方は所属学習センター、大学院在学の方は大学本部となります。
同時に、最寄りの郵便局へ転居届をご提出ください。

「看護師資格取得に資する科目（夏季集中型）」受講者へのお知らせ

看護師資格取得に資する科目（夏季集中型）では、本年度より再試験を実施することとなりました。本年度の再試験は平成19年1月27日（土）です。今後の手続き方法など詳細に関しては、決定次第改めてお知らせいたします。

平成18年度第2学期面接授業（毎週型・土日型）科目の追加登録

10月から始まる第2学期面接授業（毎週型・土日型）について、空席がある科目は追加登録をすることができます。登録機会は3回、日程等は以下をご確認ください。

	空席発表日	登録受付期間	10月に新規入学・継続入学された方の申込み
第1次追加登録	9月9日(土)	9月16日(土)～9月21日(木)	×
第2次追加登録	9月30日(土)	10月18日(水)～10月22日(日)	○
第3次追加登録	10月27日(金)	11月1日(水)～11月5日(日)	○

空席状況（追加登録の対象となる科目）は、空席発表日以降・各学習センターの掲示・キャンパスネットワークホームページ(<https://www.campus.u-air.ac.jp/u-air/>)でお知らせします。受講したい科目をご確認の上、登録受付期間内に、当該科目を開講する学習センター・サテライトスペースの窓口にご確認ください。

※登録の際は必ず、学生証（コピーは不可）・授業料をご持参ください。

※登録受付の方法等詳しくは、当該科目を開講する学習センター・サテライトスペースへお問い合わせください。

編集後記

この記事を書いている頃はサッカーワールドカップの真只中、日本は意外にも3戦中2敗1分で予選落ちしてしまった。残念で筆が進まない。ワールドベースボールは崖っぷちから奇跡の優勝を果たしたが、サッカーまでもとはいかなかった。こういう大会は短期決戦で、運もあるだろう。オーストラリア戦では不利な判定ミスがあった。また失点が前後半終了10分以内に集中して起こっている。ブラジル戦で1点とったことを支えに、4年後に向けて新しいチーム作りをしてがんばってもらいたい。一方放送大学は21世紀の未来に向けて、新しい大学作りを積極的に行おうとしている。科目群履修認定制度はその一つである。今後4年間、我々にとっても大事な期間になるだろう。（隈部 正博）

大学通信専門委員会

（平成18年度）

委員長	教授	杉本大一郎
副委員長	〃	滝口俊子
委員	〃	中谷延二
〃	〃	岡部洋一
〃	助教授	坂井素思
〃	〃	杉浦克己
〃	〃	大橋理枝
〃	〃	隈部正博

（編集事務担当
教務部学生サービス課）

ご意見やご感想をお聞かせ下さい。
editor@u-air.ac.jp



放送大学学園

<http://www.u-air.ac.jp/>
ISSN 1343-3369

2100

新しい図書館サービスが始まり、大変便利になりました

これまでの蔵書検索（OPAC）サービスを拡張して、以下のサービスを開始しました。図書館ホームページの「蔵書検索・照会サービス」からご利用ください。

1. 新着図書の一覧表示（新着照会）

新着図書リストが見られるようになりました。

過去1ヶ月間に放送大学で受け入れた図書が分類毎に表示されます。

2. 携帯電話からの蔵書検索（携帯OPAC）

思いついたらすぐにどこからでも蔵書が調べられ、また、携帯を片手に書架の間で必要な本を自在に探すことができます。これはとても便利。

URLは蔵書検索と共通で <http://opac.u-air.ac.jp/opac/> です。

3. 貸出・予約状況の確認と貸出の更新（貸出予約照会）

ログインすると、自宅のパソコンや携帯から、自分が借りている図書の確認や貸出延長、予約している図書の確認や予約取消ができます。

貸出予約照会に必要なユーザID、パスワードは、学習センター図書室、本部図書館カウンターにお申し込みください。

4. 貸出中図書に対するOPACからの予約

検索した結果、見たい図書が貸出中だったら、その場で予約がかけられます。

予約ボタンをクリックしてID、パスワードを入力してください。もちろん、携帯からも可能です。

また、大学院修士全科生に対する図書の宅配サービスも始めました。対象は本部図書館所蔵の一般図書・印刷教材で、送料は各自負担となります。詳しくは図書館ホームページのお知らせをご覧ください。